

交通事故死者ゼロ 5000日達成

国見町は、2月25日午前0時に「交通事故死者ゼロ5000日」を達成しました。

町内では、平成16年6月17日に事故が発生して以来、約13年8か月わたって、交通死亡事故が発生していません。



交通事故死者ゼロ5000日達成を受けて、福島県交通対策協議会長表彰伝達式が2月27日、国見町役場で行われました。

式では、県北地方交通対策協議会長の小川武県北地方振興局長より、町交通対策協議会長の太田久雄町長へ表彰状が手渡されました。小川局長は「交通の大動脈である国道4号を抱え、震災からの復旧・復興に伴い交通量も増加している厳しい道路情勢の中で、5000日という記録を達成したことは、関係者のみなさまの努力の成果です。今後

も記録がさらに続くことを祈っています」と祝辞を述べました。また、太田町長は「5000日達成は、交通安全関係団体をはじめとした広域的なご支援によるもの。また、町民一人一人が高い意識を持って交通安全に努めてきた結果でもあります。5000日は一つの通過点であり、今後も今までどおり自然体で交通事故撲滅に向けた取り組みを続けていきます」と謝辞を述べました。

5000日達成は、県内では葛尾村に次いで2番目に長い記録です。

県交通対策協議会長より表彰



小川局長(右)から表彰状を手渡された太田町長(左)



『国見のたからもの』No.46

大木戸窯跡群 (昭和47年の発掘調査の様子：阿部恒夫さん提供)

福島県内では7世紀末頃には古代郡役所(郡衙)が整備され、律令制度による統治が始まることが知られています。国見地域では、8世紀前半に役所生活などで必要な須恵器を生産していた大木戸窯跡群が存在し、郡衙整備の一環として持ち込まれた産業の一つと考えられます。写真は、現在の新溜ため池の法面で発掘された窯跡を調査している様子です。町内の本格的な発掘調査としては早い例の一つで、県内須恵器研究においても欠かせない資料の一つとなっています。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

～今月の表紙～



くにみひなの会による「つるし飾り展」が大木戸ふれあいセンターで開催されました。今年も会場には色とりどりのつるし雛が展示され、来場者を魅了していました。

目次

24	22	18	16	14	13	12	11	10	9	8	6	3	2
カレンダー	生涯学習つうしん	くらしの情報	保健だより	まちのわだい	異動の手続きを忘れずに、変わります	笑顔のひろば、小さな天才たち	歴まちさんぽ	若い芽のコンサート、シヨートシヨート創作文大会	森のおもちやフェスティバル	国見町応援大使野崎洋光さん講演・実演会	国見シユニア応援団解団式	交通事故死者ゼロ5000日達成	目次